

第 27 回日本内分泌攪乱物質学会研究発表会
プログラム

*時間は変更になる可能性があります。

12 月 11(木).....

9:55-10:00 開会挨拶

10:00-10:30 会長講演

「内分泌攪乱物質学会の過去・現在・未来」

鯉淵 典之(日本内分泌攪乱物質学会会長 群馬大学)

10:30-11:00 実行委員長講演

「臨床医にとって本学会はどう見えるか？」

久保 和彦

(公益社団法人 福岡医療団 千鳥橋病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

11:00-11:20 実行委員長講演

「内分泌攪乱物質ビスフェノールの標的受容体研究

—BPA-free から BPA-NI(BPA-Non Intentionally added)の流れのなかで—」

松島 綾美(九州大学大学院理学研究院化学部門 教授)

11:30-12:30 一般口演 1「プラスチック汚染」

12:30-14:00 ランチ休憩

14:00-14:30 ポスター発表(奇数番号)

14:45-15:15 一般口演 2「生物影響」

15:15-15:30 話題提供

「内分泌かく乱物質(環境ホルモン)の「ガン、認知症などへの影響」研究の
最近の進歩:新しい化学物質群とそれらの複合汚染」

黒田 洋一郎(環境脳神経科学情報センター)

15:40-16:40 シンポジウム 1

「世界一の安全・安心社会の実現」を目指す未来社会創造事業

「健全な社会と人を支える安全安心な水循環系の実現」

田中 宏明(信州大学)

「下水疫学の社会実装」

井原 賢(高知大学)

「オゾンを用いた薬剤耐性リスク並びに化学物質汚染リスクの低減効果と実装」

西村 文武(京都大学)

「経済的に実現可能な真空紫外線ベースの PFAS 浄水処理の可能性」

松下 拓(北海道大学) 非会員

12 月 12 日(金).....

9:30-10:15 セッション

「エコチル調査の現在—研究成果と将来展望」

座長: 戸高 恵美子(千葉大学予防医学センター)

「千葉ユニットセンターの研究より」

山本 緑(千葉大学予防医学センター)

「宮城ユニットセンターの研究より」

大田千晴(東北大学大学院医学系研究科発達環境医学分野)

「高知ユニットセンターの研究より」

安光ラヴェル香保子(高知大学)

10:25-11:25 シンポジウム 2

「新興化学物質の環境分析とリスク評価の新展開」

座長・演者 : 鑓迫 典久先生(愛媛大学大学院農学研究科)

「タイヤから溶出する添加剤由来化合物の網羅的スクリーニング」

国末 達也先生(愛媛大学沿岸環境科学研究センター)

「新興 PFAS を追う: 環境水・野生生物における網羅的スクリーニングと分析課題」

田上 瑠美先生(愛媛大学沿岸環境科学研究センター)

「室内の新興化学物質: ヒトやペット動物への影響評価を考える」

水川 葉月先生(愛媛大学大学院農学研究科 環境保全学コース)

「メダカを用いた PFAS のモニタリング調査」

鑓迫 典久先生(愛媛大学大学院農学研究科)

- 11:25-12:55 ランチ休憩
- 12:55-13:25 ポスター発表(偶数番号)
- 13:25-14:15 シンポジウム 3
「人の環境化学物質汚染への医療の現場からの取り組み」
座長・演者：久保 和彦
(公益社団法人 福岡医療団 千鳥橋病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)
- 「大阪ダイキン工場周囲の PFAS 汚染の実態」
大島 民旗(淀川勤労者厚生協会 相川診療所 所長(内科医))
- 「昭島地域における PFAS 汚染と対策」
大山 美宏(健生会 昭島相互診療所 副所長(内科医))
- 「ポリファーマシーに対する病院薬剤師の取り組み」
加末 由彩(福岡医療団 千鳥橋病院 薬剤部科長(薬剤師))
- 14:25-15:25 一般演題 3 「ヒトへの影響」
- 15:25-15:40 表彰式および閉会式